

Google Cloud のプライバシーに関するお知らせ

発効日: 2025 年 2 月 6 日

本「Google Cloud のプライバシーに関するお知らせ」では、[Google Workspace \(Google Workspace for Education を含む\)](#)、[Google Cloud Platform](#)、[Google Cloud Marketplace](#)、[Cloud Identity](#) (別売りの場合)、[導入サービス](#)、および [Google Cloud トレーニング](#) (総称して「クラウド サービス」) に関連する個人情報の収集方法および処理方法について説明します。

Google は、Google のお客様に直接、または認定パートナー様を介してクラウド サービスを提供しています。本お知らせの中で「Google のお客様」に言及している場合、Google のパートナー様およびそのお客様も意味します。

エンドユーザーに関するサービスデータの処理に欧州連合 (EU)、英国、またはスイスのデータ保護法が適用される場合は、以下の「[EU プライバシー基準と GDPR](#)」の項をご参照のうえ、エンドユーザーの権利と Google によるこれらの法律の遵守の詳細についてご確認ください。

[Google Workspace for Education サービスデータ追加条項](#) に同意しているエンドユーザーの組織は、このお知らせと [Google Cloud のプライバシーに関するお知らせの補足](#) の両方をご確認ください。

Google が収集するサービスデータ

Google は、クラウド サービスを提供するために、お客様のデータ、パートナー様のデータ、およびサービスデータを処理します。本プライバシーに関するお知らせはサービスデータのみ適用され、お客様のデータおよびパートナー様のデータには適用されません。「サービスデータ」の意味は以下で説明しています。

お客様のデータおよびパートナー様のデータはクラウド サービスに関する Google のお客様との契約で定義されており、クラウド サービスにおける処理を目的として、エンドユーザーおよび Google のお客様が提供するデータを表します。Google がお客様のデータおよびパートナー様のデータを処理する方法の詳細については、[Cloud のデータ処理に関する追加条項 \(お客様\)](#) および [Cloud のデータ処理に関する追加条項 \(パートナー様\)](#) をご覧ください。

サービスデータとは、クラウド サービスおよび関連テクニカル サポートの提供中および管理中に Google が収集または生成する個人情報です (お客様のデータおよびパートナー様のデータは除きます)。

サービスデータは次の要素で構成されます。

- **アカウント情報:** Google は、エンドユーザーまたはエンドユーザーの組織がクラウド サービスのアカウントを作成する際、または Google との契約を締結する際に提供するデータ (ユーザー名、氏名、連絡先情報、役職) を収集します。
- **クラウドでのお支払いおよびお取引:** Google は、料金、お支払い、請求の詳細および問題点について、適切な業務記録を保持します。

- クラウドの設定と構成: Google は、リソースの ID や属性、データや他のリソースのサービス設定およびセキュリティ設定などの、エンドユーザーによる構成と設定を記録します。
- クラウド サービスの使用状況に関する技術面および運用面の詳細情報: Google は、使用状況、稼働状態、ソフトウェアのエラーおよびクラッシュレポート、認証情報、品質指標およびパフォーマンス指標など、Google がクラウド サービスおよび関連ソフトウェアを運用および管理するために必要な技術面の詳細に関する情報を収集します。この情報には、デバイスの ID、Cookie やトークンから収集された ID、IP アドレスなどが含まれます。
- エンドユーザーとの直接的なコミュニケーション: Google は、Google および Google のパートナー様とエンドユーザーとのコミュニケーションおよびやり取りを記録します(たとえば、エンドユーザーからフィードバック、質問、またはテクニカル サポートの申し込みを受けた場合)。

Google がサービスデータを処理する理由

Google がサービスデータを処理する目的は以下のとおりです。

- 要求されたクラウド サービスを提供する: Google がサービスデータを使用する主な目的は、エンドユーザーや Google のお客様から要求されたクラウド サービスを提供することです。これには、特定のお客様にクレジットを提供する前の確認、使用されたクラウド サービスの料金の請求、それらのサービスが意図したとおりに提供されている、または機能していることの確認、サービスの停止または他の技術的な問題の検出と回避、およびエンドユーザーのデータとサービスの保護のために、必要に応じてサービスデータを処理することが含まれます。
- クラウド サービスの使用を最適化するための推奨事項を提案する: Google は、サービスデータを使用して、エンドユーザーおよび Google のお客様に推奨事項(たとえば、エンドユーザーのアカウントまたはデータのセキュリティを強化する方法、サービス料金を削減する方法、パフォーマンスを向上させる方法、またはエンドユーザーによる構成を最適化する方法の提案)を提供したり、新プロダクトまたは関連プロダクトおよび機能に関する情報を提供したりします。また、Google が示した提案に対するエンドユーザーの反応およびその他のフィードバック(エンドユーザーがフィードバックを提供することを選択した場合)も評価します。
- クラウド サービスを管理し、改善する: Google は、クラウド サービスのパフォーマンスと機能の改善に役立てるために、サービスデータを評価します。Google がエンドユーザー向けのクラウド サービスを改善することにより、Google のお客様向けのサービスも改善され、その逆もまた同様です。
- エンドユーザーから要求を受けたその他のサービスを提供し、改善する: Google は、エンドユーザーおよび Google のお客様から要求を受けた別のサービスを提供および改善するためにサービスデータを使用します。これには、クラウド サービス、管理コンソール、アプリケーション プログラミング インターフェース(API)、コマンドライン インターフェース(CLI)、または Google Workspace Marketplace を介して有効化される Google もしくは第三者のサービスが含まれます。
- エンドユーザーを支援する: Google は、エンドユーザーおよび Google のお客様から要求されたクラウド サービスのテクニカル サポートを提供するために、および Google がエンドユーザーのニーズに応えられたかどうかを評価するために、サービスデータを使用します。また、テクニカル サポートの改善、クラウド

サービスのアップデートに関するエンドユーザーおよび Google のお客様へのお知らせ、ならびにクラウドサービスに関連するその他のお知らせの送付のためにもサービスデータを使用します。

- エンドユーザー、Google のユーザー、Google のお客様、公衆、および Google を保護する: Google は、エンドユーザー、他のユーザー、Google のお客様、公衆、または Google に害を及ぼすおそれのある不正行為、不正使用、セキュリティリスク、技術的な問題を検知および防止し、これに対応するために、サービスデータを使用します。これにより、Google のサービスの安全性と信頼性が高まり、セキュリティがさらに確保されます。
- 法的義務を遵守する: Google は、法的義務を遵守するためにサービスデータを使用します(たとえば、法的手続きまたは強制力のある政府の要請に応じる場合や、財務記録保持義務を果たす場合)。

これらの処理目的を達成するために、Google は、サービスデータのパターンを認識するアルゴリズム、サービスデータを手作業で確認(エンドユーザーが Google の請求チームまたはサポートチームと直接やり取りする場合など)したもの、個人情報除外するためのサービスデータの集計または匿名化したもの、サービスデータと Google の他のプロダクトおよびサービスからの情報とを組み合わせたものを使用します。また、該当するプロダクトおよび事業運営に関する内部報告および分析にもサービスデータを使用します。

[Google Workspace for Education サービスデータ追加条項](#)に同意しているエンドユーザーが所属する組織の方は、以下の点にご注意ください。

- エンドユーザーが所属する組織は、Google Workspace for Education から収集または生成されたサービスデータを、データ管理者として、エンドユーザーに個別に開示する必要がある目的のために処理します。
- 上記の Google による処理目的は、エンドユーザーには適用されません。エンドユーザーに適用される目的は、[Google Cloud のプライバシーに関するお知らせの補足](#)に記載されています。詳細についてはリンク先をご覧ください。

サービスデータの保存場所

Google は世界中にデータセンターを展開しており、Google Workspace (Google Workspace for Education を含む)および Cloud Identity (別売りの場合)は[これらのロケーション](#)から、Google Cloud Platform は[これらのロケーション](#)から提供しています。

サービスデータは、Google のユーザーおよび Google のお客様の所在地である国以外にあるサーバーで処理される場合があります。なぜなら、サービスデータは通常、請求、サポート、セキュリティなどの一元化またはリージョン化されたオペレーションによって処理されるためです。

サービスデータが処理される場所にかかわらず、Google は本プライバシーに関するお知らせに記載したものと同一の保護を適用します。欧州経済領域、英国、またはスイス以外にサービスデータを転送する場合、Google は特定の[法的な枠組み](#)を遵守します。

サービスデータの保護方法

Google は、エンドユーザーのデータを保護するための強固なセキュリティ機能を備えたクラウド サービスを構築しています。サービスを提供することで得られる分析情報を活用し、セキュリティ脅威をエンドユーザーの元に到達する前に検知し、自動的にブロックします。

Google は、Google が保持するサービスデータを不正なアクセス、改変、開示、および破壊から保護すべく尽力しています。たとえば以下の対策を講じています。

- 保存中のサービスデータおよび Google の施設間で転送中のサービスデータを暗号化すること。
- Google のシステムへの不正アクセスを防止するために、Google のサービスデータの収集、保存、処理の慣行(物理的なセキュリティ措置を含む)を定期的に見直すこと。
- Google に代わってサービスデータを処理するために当該サービスデータを必要とする Google の従業員、請負業者、代理人のみがサービスデータにアクセスできるよう制限すること。当該担当者はいずれも、厳格な契約上の守秘義務を負っており、当該義務を履行しなかった場合は懲戒処分または解雇の対象となることがあります。

サービスデータの共有方法

Google は関係会社に対し、本プライバシーに関するお知らせを遵守するとともに、適切な秘密保持対策およびセキュリティ対策を講じたうえで、上記の「[Google がサービスデータを処理する理由](#)」に記載している目的のためにサービスデータを処理するよう指示しています。

Google は、社外のいかなる企業、組織、個人ともサービスデータを共有しません。ただし、以下の場合を除きます。

- エンドユーザーが第三者のサービスを利用する場合

エンドユーザーまたは Google のお客様が、Google Cloud Platform、Google Cloud Platform Marketplace、Google Workspace Marketplace を経由して第三者のサービスを利用すること、またはエンドユーザーのサービスデータへのアクセスを必要とする第三者のアプリケーションを使用することを選択した場合、Google はサービスデータを Google の外部と共有します。

- エンドユーザーの同意を得た場合

Google は、エンドユーザーの同意を得たうえで、Google の外部とサービスデータを共有します。

- エンドユーザーの管理者および正規販売パートナーと共有する場合

エンドユーザーがクラウド サービスを使用するにあたり、エンドユーザーの管理者およびエンドユーザーまたはエンドユーザーの組織のアカウントを管理する権限を持つ販売パートナーには、特定のサービスデータにアクセスする権利があります。したがって、たとえば、次のようなことが可能になる場合があります。

- アカウントおよび請求に関する情報、アクティビティ、統計情報を確認すること。
- エンドユーザーのアカウントのパスワードを変更すること。
- エンドユーザーのアカウントのアクセス権を一時停止または停止すること。

- 適用される法律、規則、法的手続き、または強制執行可能な政府機関の要請に応じるために、エンドユーザーのアカウント情報にアクセスすること。
- エンドユーザーが自身の情報またはプライバシー設定を削除する権限や編集する権限を制限すること。
- 外部処理の場合

Google がエンドユーザーのサービスデータを第三者に販売することはありません。

Google は、信頼できる第三者プロバイダが、本プライバシーに関するお知らせ、ならびに適切な秘密保持対策およびセキュリティ対策に従うとともに、Google からの指示に基づき、Google に代わってエンドユーザーのサービスデータを処理するために、かかる第三者プロバイダとサービスデータを共有します。特に、技術サポート サービス (Google は、エンドユーザーがサポート チケットで提供した情報を共有し、第三者プロバイダは、更新情報の提供やチケットのクローズなど、エンドユーザーまたはそのチケットの管理者と連絡を取ることがあります) やプロフェッショナル サービス (Google は、コミュニケーションとコラボレーションを可能にするためにエンドユーザーの連絡先情報を共有します) をエンドユーザーから要求された場合、Google はサービスデータを Google の第三者プロバイダと共有します。

- 法律上の理由がある場合

以下の目的でサービスデータへのアクセスまたはサービスデータの開示が合理的に必要であると Google が誠実に判断した場合、Google は Google の外部とサービスデータを共有します。

- 適用される法律、規則、法的手続き、または強制執行可能な政府の要請に応じるため。政府からの要請の件数と種類の詳細については、[透明性レポート](#)で開示しています。
- 違反が疑われるケースの調査など、適用される契約を強制執行するため。
- 不正行為、セキュリティ、または技術上の問題を検知もしくは防止するため、または別の手段によりこれらに対処するため。
- 法律上義務付けられている範囲、または法律上認められている範囲で、Google、Google のお客様、ユーザー、および公衆の権利、財産、または安全に害が及ぶことを防ぐため。

Google が組織再編、合併、買収、または資産の売却の対象となった場合、Google は引き続きサービスデータの秘密が保持されるよう取り計らい、サービスデータが別のプライバシー ポリシーの適用を受けるようになる前に、影響を受けるユーザーに通知します。

サービスデータへのアクセス

エンドユーザーの組織によっては、エンドユーザーのデータをバックアップするために、または Google 以外のサービスに転送するために、エンドユーザーのデータへのアクセスとそのエクスポートをエンドユーザーに許可している場合があります。Google の一部のクラウド サービスにおいて、エンドユーザーはサービスに保存したデータに直接アクセスして、そのデータをダウンロードできます。[Google Workspace のデータ主体リクエストガイド](#)で詳しく取り上げているように、エンドユーザーまたはエンドユーザーの組織はさまざまなツールを使用してデータにアクセスし、データを制御およびエクスポートできます。

エンドユーザーおよびエンドユーザーの組織の管理者は、アカウント情報、請求連絡先情報、お支払いおよびお取引に関する情報、プロダクトおよびコミュニケーションに関する設定と構成など、複数の種類のサービスデータに Google Cloud から直接アクセスできます。

エンドユーザーが自身のサービスデータにアクセスできない場合は、いつでも[こちら](#)からそのサービスデータへのアクセス権をリクエストできます。

サービスデータの保持と削除

Google によるサービスデータの保持期間は、データの種類、データの用途、エンドユーザーによる設定に応じて異なります。サービスデータが不要になった場合、Google は当該データを削除または匿名化します。

Google は、サービスデータの種類および処理業務ごとに、その処理目的に基づき保持期間を設定し、必要以上に長い期間サービスデータが保存されないようにします。Google は、ほとんどの種類のサービスデータを最長 180 日間保持します（正確な日数はデータの種類によって異なります）。ただし、業務上の必要性がある場合、一部のサービスデータはこれよりも長い期間保存されることがあります。通常、以下の目的で保存されるサービスデータについては、これよりも長い期間保持されます（1 年を超える場合もあります）。

- セキュリティの維持、不正行為や不正使用の防止: Google は、ユーザー アカウントへの不正アクセスの試みから保護するために、または適用されるクラウド サービス契約に対する違反を調査するために必要な場合に、サービスデータを保持します。通常、不正行為や不正利用が疑われる理由がある場合に保持されるサービスデータには、デバイスの ID、Cookie やトークンにより取得される識別子、IP アドレス、クラウド サービスの利用に関するログデータが含まれます。
- 法律上または規制上の要件の遵守: Google は、Google が合法的な召喚状を受け取った場合など、強制執行可能な法的手続きにより義務付けられている場合に、サービスデータを保持します。
- 税務上、会計上、または財務上の要件の遵守: Google がエンドユーザーのためにお支払いを処理する場合、またはエンドユーザーが Google に対してお支払いする場合、これらのお取引に関するサービスデータ（お支払い情報を含む）を、税務上もしくは会計上の目的のために、または適用される財務上の規制を遵守するために必要な場合に、通常最低 5 年間保持します。

適用される保持期間の終了に際して、Google は、稼働中の Google のシステム（Google がアプリケーションの実行やデータの保存に使用しているサーバー）からサービスデータが安全かつ完全に削除されるか、匿名化された形式でのみ保持されるよう、詳細な手順に従います。これらの手順の完了後、サービスデータのコピーは、Google の暗号化されたバックアップ システム（偶発的な削除または悪意のある削除からサービスデータを保護し、サービス停止または障害からの復旧するときのために、このバックアップ システムを維持します）に限られた期間保存され、その後新しいバックアップ コピーで上書きされます。

Google のアカウントおよびプロダクトの使用

Google アカウントは、クラウド サービスだけでなく、すべての Google のプロダクトおよびサービスを利用するために必要です。クラウド サービス以外の Google プロダクトおよびサービスを使用する場合、エンドユーザーの個人情報（Google アカウントのプロファイル情報を含む）の収集方法および使用方法については、[Google プライバシーポリシー](#)を参照してください。エンドユーザーおよびエンドユーザーの管理者は、エンドユーザーの組織が管理する Google アカウントにログインしているときに、クラウド サービス以外のどの Google サービスをエンドユーザーが使用できるかを制御できます。

エンドユーザーの組織が管理する Google アカウントを使用してクラウド サービスをエンドユーザーが操作する場合、エンドユーザーの個人情報は当該組織のプライバシー ポリシーおよびプロセスの対象となり、プライバシーに関する問い合わせは当該組織に対して行う必要があります。

EU プライバシー基準と GDPR

データ保護に関するエンドユーザーの権利の行使

欧州連合 (EU)、英国、またはスイスのデータ保護法がエンドユーザーに関するサービスデータの処理に適用される場合、エンドユーザーは、エンドユーザーのサービスデータにアクセスする権利、エンドユーザーのサービスデータを訂正、削除、エクスポートする権利、およびエンドユーザーのサービスデータの処理に異議を唱える権利、当該処理の制限を求める権利など、一定の権利を有します。

Google Cloud EMEA Ltd. が、エンドユーザーのサービスデータについて責任を負うデータ管理者となります。ただし、Google のお客様が別の Google の関係会社とクラウド サービスを対象とする契約を締結している場合、クラウド サービスの請求に関連する限りにおいて、当該関係会社がエンドユーザーのサービスデータの処理に責任を負うデータ管理者となります。

本プライバシーに関するお知らせに従って Google が処理するサービスデータに関して、エンドユーザーがデータ保護に関する権利の行使を希望しつつ、エンドユーザーまたはエンドユーザーの組織の管理者が利用可能なツールによりかかる権利の行使を行うことができない場合、[プライバシー ヘルプセンター](#)から Google に問い合わせることができます。

お住まいの地域の法律に基づくご自身の権利についてご不明な点があるエンドユーザーは、地域のデータ保護機関にいつでも問い合わせることができます。

Google がエンドユーザーのサービスデータを処理する根拠

Google が本プライバシーに関するお知らせ (上記の「Google がサービスデータを処理する理由」を参照) に記載されている目的でサービスデータを処理する場合、Google は以下の法的根拠に依拠します。

目的	処理されるサービスデータの種類	法的根拠
----	-----------------	------

要求されたクラウド サービスを提供する。

この目的の達成に必要な 次の種類のサービスデータ:

- アカウント情報
- クラウドでのお支払いおよびお取引引き
- クラウドの設定と構成
- エンドユーザーによるクラウド サービスの使用に関する技術面および運用面の詳細情報
- エンドユーザーとの直接的なコミュニケーション

Google が Google のお客様に対して負う契約上のクラウドサービス提供義務を履行するという Google の正当な利益のために必要である場合。

クラウド サービスの使用を最適化するための推奨事項を提案する。

この目的の達成に必要な次の種類のサービスデータ:

- アカウント情報
- クラウドでのお支払いおよびお取り引き
- クラウドの設定と構成
- エンドユーザーによるクラウド サービスの使用に関する技術面および運用面の詳細情報
- エンドユーザーとの直接的なコミュニケーション

Google ができる限りの最高のサービスを提供し、Google のサービスを最大限に活用する方法を Google のお客様に知らせる正当な利益を Google が追求する場合。

場合によっては、マーケティングコミュニケーションの送付についてエンドユーザーの同意を求めています。

クラウド サービスを管理し、改善する。

この目的の達成に必要な次の種類のサービスデータ:

- アカウント情報
- クラウドの設定と構成
- エンドユーザーによるクラウド サービスの使用に関する技術面および運用面の詳細情報

Google ができる限りの最高のクラウド サービスを提供し、Google のお客様のニーズを満たすためにクラウド サービスを改善し続けるという Google の正当な利益のために必要な場合。

エンドユーザーから要求を受けたその他のサービスを提供し、改善する。

- エンドユーザーとの直接的なコミュニケーション

この目的の達成に必要な次の種類のサービスデータ:

- アカウント情報
- クラウドの設定と構成
- エンドユーザーによるクラウドサービスの使用に関する技術面および運用面の詳細情報
- エンドユーザーとの直接的なコミュニケーション

Google が Google のお客様に負っている契約上のクラウド サービス提供義務を履行するという正当な利益のために必要な場合、および Google ができる限りの最高のサービスを提供し、Google のお客様のニーズを満たすためにクラウド サービスを改善し続けるという正当な利益のために必要な場合。

エンドユーザーを支援する。

この目的の達成に必要な次の種類のサービスデータ:

- アカウント情報
- クラウドでのお支払いおよびお取引引き
- クラウドの設定と構成
- エンドユーザーによるクラウドサービスの使用に関する技術面および運用面の詳細情報
- エンドユーザーとの直接的なコミュニケーション

Google が Google のお客様に対して負っている契約上のクラウドサービス提供義務を履行するという正当な利益のために必要である場合。

エンドユーザー、Google
のユーザー、Google の
お客様、公衆、および
Google を保護する。

この目的の達成に必要な
次の種類のサービスデー
タ:

- アカウント情報
- クラウドでのお支
払いおよびお取り
引き
- クラウドの設定と
構成
- エンドユーザーに
よるクラウドサー
ビスの使用に関
する技術面および
運用面の詳細情
報
- エンドユーザーと
の直接的なコミュ
ニケーション

Google の権利、財産、安全を侵
害から保護するという Google の
正当な利益のために必要な場合、
および Google のユーザー、
Google のお客様、公衆を犯罪行
為や権利侵害を含む危害から保
護するという Google および第三
者の正当な利益のために必要な
場合。

法的義務を遵守する。

特定の法的義務に応じて、以下の種類のサービスデータ:

- アカウント情報
- クラウドでのお支払いおよびお取り引き
- クラウドの設定と構成
- エンドユーザーによるクラウドサービスの使用に関する技術面および運用面の詳細情報
- エンドユーザーとの直接的なコミュニケーション

Google に法的義務がある場合。たとえば、法的手続きや強制力のある政府機関の要請に応じる場合、または Google の記録保持義務を果たすためにエンドユーザーによる購入や通信に関する情報を保持する場合など。

[Google Workspace for Education サービスデータ追加条項](#)に則って Google Workspace を使用しているお客様は、[Google Cloud のプライバシーに関するお知らせの補足](#)をご覧ください。Google Workspace for Education から収集または生成されたエンドユーザーのサービスデータを処理する際に Google が依拠する法的根拠についてご確認ください。

補足情報(スイス)

エンドユーザーのサービスデータの処理にスイスのデータ保護法が適用される場合、以下の追加情報が関連します。

Google および Google の関係会社がサービスデータを処理する場所については、「サービスデータの保存場所」の項(上記)をご覧ください。また、Google は、世界中のあらゆる国に所在する、または世界中のあらゆる国で情報を処理するサービスプロバイダ様、パートナー様、およびその他の受領者(「サービスデータの共有方法」の項を参照)に、お客様のサービスデータを開示します。

Google は、[データ転送に関する法的枠組み](#)のページに記載されているとおり、情報の移転に関する特定の法的枠組みを遵守しています。また、スイス連邦データ保護法の例外規定に基づき、お客様の情報を第三国に転送する場合もあります。

国外で法的手続きが行われる場合、公共の利益に優先する場合、エンドユーザーとの契約の履行またはエンドユーザーの利益のために開示が必要な場合、エンドユーザーの同意がある場合、エンドユーザーによって情報がー

般に公開されており、エンドユーザーがその処理に異議を唱えていない場合、エンドユーザーまたは第三者の生命または身体的完全性を保護するために開示が必要であり、合理的な期間内に同意を得ることができない場合、または、スイスの法律に規定があり、一般市民または正当な利益を有する者がアクセスできる登録簿に由来する情報である場合(特定の状況において当該登録簿を参照するための法的条件が満たされている場合に限る)には、例外が適用されることがあります。

ブラジルの要件

ブラジルのデータ保護法がサービスデータの処理に適用される場合、エンドユーザーには、ご自身のサービスデータにアクセスする権利、ご自身のサービスデータを訂正、削除、エクスポートする権利、サービスデータの処理に異議を申し立てる権利、Google にサービスデータの処理を制限するよう要求する権利などの特定の権利があります。また、エンドユーザーには、サービスデータの処理に異議を申し立てる権利、およびサービスデータを別のサービスにエクスポートする権利もあります。

ブラジルを拠点とするユーザーの場合、Google Workspace および Google Workspace for Education 用に収集するサービスデータについて責任を負うデータ管理者は Google LLC であり、Google Cloud Platform 用に収集するサービスデータについて責任を負うデータ管理者は Cloud Brasil Computação e Serviços de Dados Ltda です。データ保護オフィサーは Kristie Chon Flynn です。Google が本プライバシーに関するお知らせに従って処理するサービスデータに関してエンドユーザーがデータ保護の権利を行使することを希望しているが、エンドユーザーまたはエンドユーザーの組織の管理者が利用可能なツールを介してそれを実現できない場合、エンドユーザーは[プライバシーヘルプセンター](#)から Google にいつでも問い合わせることができます。また、ブラジルの法律に基づくご自身の権利についてご不明な点がありましたら、お住まいの地域のデータ保護機関にお問い合わせください。

Google は、本プライバシーに関するお知らせで説明している目的と根拠に加えて、以下の法的根拠からサービスデータを処理する場合があります。

- エンドユーザーとの契約の履行に必要な場合
エンドユーザーとの契約締結に必要な場合、またはエンドユーザーに対する Google の契約上の取り決めの遵守に必要な場合、Google は、エンドユーザーの情報を処理することがあります。
- 法的義務を遵守する場合
Google は、Google に法的義務がある場合、エンドユーザーの情報を処理します。
- **Google** が正当な利益を追求している場合
Google は、エンドユーザーのプライバシーを保護する適切な安全保護対策を適用しながら、Google の正当な利益および第三者の正当な利益に基づいてサービスデータを処理することがあります。つまり、Google は、エンドユーザーが要求したクラウド サービスを提供するという利益、クラウド サービスの使用を最適化するための推奨事項を提案するという利益、クラウド サービスを維持し改善するという利益、エンドユーザーが要求した他のサービスを提供し改善するという利益、エンドユーザーを支援するという利益、または法律が義務付けているとおりに、もしくは法律が許可しているとおりに、Google、Google のユーザー、Google のお客様、公衆の権利、財産、および安全に害が及ぶことを防ぐという利益のために、エンドユーザーの情報を処理します。

米国のプライバシー関連州法の要件

米国の一部のプライバシー関連州法では、具体的な開示が義務付けられています。

具体的な開示を義務付けている米国州法の例は次のとおりです。

- カリフォルニア州消費者プライバシー法 (CCPA)
- バージニア州の消費者データ保護法 (VCDPA)
- コロラド州のプライバシー法 (CPA)
- コネチカット州の個人データのプライバシーおよびオンライン モニタリング関連法 (CTDPA)
- ユタ州の消費者プライバシー法 (UCPA)
- フロリダ州デジタル権利章典 (FDBR)
- テキサス州のデータ プライバシーおよびセキュリティ法 (TDPISA)
- オレゴン州消費者プライバシー法 (OCPA)
- モンタナ州消費者データ プライバシー法 (MTCDPA)

本プライバシーに関するお知らせの目的は、Google がサービスデータをどのように取り扱うかをエンドユーザーに理解していただくことです。

- Google が収集するサービスデータのカテゴリとそのサービスデータの情報源については、[Google が収集するサービスデータ](#)で説明しています。
- Google がサービスデータを収集および使用する目的については、[Google がサービスデータを処理する理由](#)で説明しています。
- Google がサービスデータを開示する場合については、[サービスデータの共有方法](#)で説明しています。Google がエンドユーザーのサービスデータを第三者に販売することはありません。また、カリフォルニア州消費者プライバシー法 (CCPA) で定義された意味で、エンドユーザーのサービスデータを「共有」することもありません。
- Google がサービスデータを保持する方法については、[サービスデータの保持と削除](#)で説明しています。Google は、その情報の再特定化を防ぐための方針および技術的措置を維持します。

米国のプライバシー関連州法にも、Google がサービスデータを収集、使用、および開示する方法に関する情報を要求する権利が定められています。また、(時にはポータビリティが備わった形式の) サービスデータにアクセスする権利、サービスデータを訂正する権利、およびサービスデータの削除を Google に要求する権利も定められています。さらに、プライバシーの権利の行使によって差別されない権利も定められています。

Google は、エンドユーザーがこれらの権利を行使できるように、[サービスデータへのアクセス](#)で説明している情報およびツールを提供します。エンドユーザーがこれらを使用する場合、Google はエンドユーザーの ID を確認する (例: エンドユーザーが Google アカウントにログインしていることを確認する) ことでエンドユーザーのリクエストを検証します。

米国のプライバシー関連州法に定められたエンドユーザー（または承認された代理人）の権利に関してご質問やご要望がありましたら、[Google にお問い合わせ](#)ください。また、リクエストに関する決定に同意できない場合は、Google が送信したメールに返信することで、Google に再検討を求めることができます。

米国の一部のプライバシー関連州法では、特定のカテゴリを使用したサービスデータの取り扱いに関する説明を義務付けています。次の表は、これらのカテゴリを使用して本プライバシーに関するお知らせの情報をまとめたものです。

Google が収集するサービスデータのカテゴリ

サービスデータが使用または開示される可能性のある業務上の目的

サービスデータが使用または開示される可能性のある相手先

エンドユーザーのユーザー名、氏名、電話番号、住所、役職、ならびにエンドユーザーが使用しているブラウザ、アプリケーション、デバイスに関連付けられている固有識別子など、個人を特定できる情報および同様の情報。

設定言語や年齢などの属性情報。

料金、お支払い、請求の詳細および問題点などの営利関連情報。

エンドユーザーの利用状況に関する情報、運用状況、ソフトウェア エラーおよびクラッシュに関するレポート、認証の詳細、品質およびパフォーマンスの評価基準、ならびに Google がクラウド サービスおよび関連ソフトウェアを運用および維持するために必要なその他の技術面の詳細情報など、エンドユーザーによるクラウド サービスの利用に関する技術面および運用面の詳細情報。これには、デバイスの ID、Cookie やトークンから収集された ID、IP アドレスなどが含まれます。

IP アドレスから割り出されるおおよその位置情報(エンドユーザーのデバイスおよびアカウント設定により一部異なります)。

Google のテクニカル サポートプロバイダとの通話の音声記録など、音声、電子、映

セキュリティ上の脅威、不正行為、違法行為からの保護。Google は、不正行為、不正使用、セキュリティリスクを検出および防止し、これらに対応するために、またその他の悪意ある、虚偽の、不正な、または不法なアクティビティから保護するためにサービスデータを使用し、開示することがあります。たとえば、Google サービスを保護するために、悪意のある行為者が不正使用した IP アドレスに関する情報を Google が受け取ったり開示したりすることがあります。

監査および測定。Google は、Google のサービスがどのように利用されているのかを把握するために、また、エンドユーザーや Google のお客様に推奨事項やおすすめの方法を提案するために、サービスデータを分析や測定に使用します。Google は、個人を特定できない情報を一般の人々およびパートナー様に開示することがあります(監査の目的の場合を含みます)。

サービスの維持。Google は、クラウド サービスと関連テクニカル サポートおよびエンドユーザーが要求したその他のサービスを提供するために、またサービス停止の追跡やエンドユーザーから報告を受けたバグ、その他の問題のトラブルシューティングなどを通じて、クラウド サービスを

Google は、社外のいかなる企業、組織、個人にもサービスデータを開示しません。ただし、以下の場合を除きます。

エンドユーザーが第三者のサービスを利用する場合。Google は、エンドユーザーまたは Google のお客様が Google Cloud Platform、Google Cloud Platform Marketplace、または Google Workspace Marketplace を通じて第三者のサービスを利用することを選択した場合、またはエンドユーザーのサービスデータへのアクセスを要求する第三者のアプリケーションを使用することを選択した場合、Google の外部にサービスデータを開示します。

エンドユーザーの同意を得た場合。Google は、エンドユーザーの同意を得たうえで、Google の外部にサービスデータを開示します。

エンドユーザーの管理者または正規販売パートナーが相手である場合。エンドユーザーがクラウド サービスを使用するにあたり、エンドユーザーの管理者およびエンドユーザーまたはエンドユーザーの組織のアカウントを管理する権限を持つ販売パートナー様には、特定のサービスデータにアクセスする権利があります。

像、およびこれらに類似した情報。

プロダクト戦略を決定するための新しいプロダクト機能のパフォーマンス指標を集約したものなど、前述の情報から類推されるもの。

意図したとおりに確実に機能させるために、サービスデータを使用します。

プロダクト開発。Google は、クラウド サービスおよびエンドユーザーが要求したその他のサービスを改善するために、また Google のユーザーと Google のお客様にとって有益な新しいプロダクト、機能、テクノロジーを開発するために、サービスデータを使用します。

サービスプロバイダの使用。Google は、サービスプロバイダが本プライバシーに関するお知らせを遵守するとともに、他の適切な秘密保持対策およびセキュリティ対策を講じたうえで Google に代わってサービスを提供できるようにするために、サービスプロバイダとサービスデータを共有します。たとえば、サービスプロバイダにテクニカル サポートの提供を依頼することがあります。

法律上の理由。Google は、適用される法律または規制を遵守するために、また法的手続きや強制執行可能な政府の要請に応じて情報を法執行機関を含む相手先へ開示するためにも、サービスデータを使用します。政府からの要請の件数と種類の詳細については、[透明性レポート](#)で開示しています。

外部処理を目的とする場合。Google は、信頼できる第三者プロバイダが、本プライバシーに関するお知らせ、ならびに適切な秘密保持対策およびセキュリティ対策に従うとともに、Google からの指示に基づき、Google に代わってサービスデータを処理するために、かかる第三者プロバイダにサービスデータを開示します。特に、技術サポートサービス(エンドユーザーがサポート チケットに記載した情報を Google が使用します)やプロフェッショナル サービス(コミュニケーションとコラボレーションを可能にするためにエンドユーザーの連絡先情報を Google が使用します)をエンドユーザーから要求された場合、Google はサービスデータを Google の第三者プロバイダに開示します。

法律上の理由がある場合。Google は、以下の目的でサービスデータへのアクセスまたはサービスデータの開示が合理的に必要であると誠意をもって判断した場合、Google の外部に当該サービスデータを開示します。

- 適用される法律、規則、法的手続き、または強制執行可能な政府の要請に応じて、政府からの要請の件数と種類の詳細については、

[透明性レポート](#)で開示しています。

- 違反が疑われる
ケースの調査など、適用される契約を強制執行するため。
- 不正行為、セキュリティ、または技術上の問題を検知もしくは防止するため、または別の手段によりこれらに対処するため。
- 法律上義務付けられている範囲、または法律上認められている範囲で、Google、Google のお客様、ユーザー、および公衆の権利、財産、または安全に害が及ぶことを防ぐため。

アジア太平洋地域の要件

この地域の一部の国におけるデータ保護法では、Google がエンドユーザーのサービスデータを収集および処理する際に、エンドユーザーの同意を得ることを義務付けている場合があります。エンドユーザーがクラウド サービスにアクセスし、これを使用した場合、エンドユーザーは、Google が本プライバシーに関するお知らせに従って、エンドユーザーのサービスデータを処理できることに同意したことになります。特に、エンドユーザーは以下に関する情報を見つけることができます。

- Google が収集するサービスデータのカテゴリとそのサービスデータの情報源 ([Google が収集するサービスデータ](#))
- Google がサービスデータを収集および使用する目的 ([Google がサービスデータを処理する理由](#))
- Google がサービスデータを開示する条件 ([サービスデータの共有方法](#))
- エンドユーザーが自身のサービスデータにアクセスする方法 ([サービスデータへのアクセス](#))
- Google がサービスデータを保持する方法 ([サービスデータの保持と削除](#))

韓国の要件

韓国のデータ保護法がエンドユーザーのサービスデータの処理に適用される場合、Google は韓国に居住するクラウド サービスのユーザー向けに以下の追加情報を提供します。

収集される個人情報の項目。エンドユーザーが Google のクラウド サービスを利用する場合、以下のサービスデータが収集されます。(i)エンドユーザーがクラウド サービスのアカウントを作成する際に、または Google と契約を締結する際に提供するデータ(認証情報、氏名、連絡先情報、役職、生年月日、性別)、(ii)料金、支払い、請求の詳細および問題に関する業務記録、クレジットカード情報および関連情報、(iii)構成と設定(リソースの識別子と属性を含む)、およびサービスとセキュリティの設定、(iv)使用状況、運用状況、ソフトウェアのエラーおよび障害レポート、認証情報、品質指標、パフォーマンス指標、その他の技術的な詳細情報(デバイス識別子、Cookie やトークンから得る識別子、IP アドレス)、(v)Google および Google のパートナー様とエンドユーザーとのコミュニケーションとやり取りおよびフィードバック。それぞれの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

上記の(i)から(v)に記載されている個人情報は、以下の「個人情報の収集目的と使用目的」で説明するように、Google のネットワーク経由で海外に所在する Google の[データセンター](#)に転送され、以下の「個人情報の保持期間と削除」で説明する保持期間にわたり保存されることがあります。自身の個人情報を海外に転送することを希望しないエンドユーザーは、サービスの利用を控え、個人情報を提供しないようにすることもできます。ただし、この場合、サービスが提供されなかったり、制限されたりすることがあります。この件についてご質問がある場合は、以下の連絡先情報までお問い合わせください。

Google は、ユーザー設定、認証情報、分析など、さまざまな目的で Cookie(ユーザーのデバイスに配置される小さなテキスト ファイル)および類似テクノロジーを使用することがあります。ほとんどのウェブブラウザは自動的に Cookie の使用を許可しますが、エンドユーザーに Cookie のブロックまたは削除を許可するコントロール機能が用意されています。

個人情報の収集目的と使用目的。Google がサービスデータを収集し使用する目的は、(i)エンドユーザーから要求を受けたクラウド サービスを提供するため、(ii)クラウド サービスの使用を最適化するための推奨事項を提案するため、(iii)クラウド サービスを維持し改善するため、(iv)エンドユーザーから要求を受けたその他のサービスを提供し改善するため、(v)エンドユーザーを支援するため、(vi)エンドユーザー、Google のユーザー、Google のお客様、公衆、Google を保護するため、(vii)法的義務を遵守するためです。それぞれの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

個人情報の保持期間と削除。Google は、上記の収集目的および使用目的を果たすために必要な期間に限り、サービスデータを保持します。データおよびオペレーションの種類ごとに、その収集目的に基づいて保持期間を設定し、必要な期間を超えて保持されることがないようにしています。

保持期間が切れた場合やエンドユーザーが削除をリクエストした場合、Google は当該サービスデータの削除または匿名化に誠実に取り組みます。ただし、サービスデータの処理を要求する法的義務やサービスデータを保持する別の法的根拠がある場合は除きます。Google がサービスデータの削除リクエストを受け取ると、アーカイブ コピーの保持期間が切れます。Google のアーカイブ システムには保持期間をすぎたデータを上書きするメカニズムが備わっています。

Google は、ほとんどの種類のサービスデータを最長 180 日間保持します(正確な日数はデータの種類によって異なります)。ただし、Google は通常、(i)セキュリティ、不正行為および悪用を防止し、(ii)法律上または規制上の要件(通信秘密保護法を含む)を遵守するために保存するサービスデータに対してそれよりも長い保持期間(1 年を超える場合があります)を設けています。また、税金、会計、および財務に関する要件を遵守するために、支払いおよ

び請求情報に関するサービスデータに対して最低 5 年間の保持期間を設けています。それぞれの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

個人情報の処理の委託。Google は、関連会社 (Google Cloud Platform については[こちら](#)、Google Workspace および Google Workspace for Education については[こちら](#)をご覧ください)、パートナー様およびその他の信頼できる企業または個人が、本プライバシーに関するお知らせ、ならびにその他の適切な秘密保持対策およびセキュリティ対策に従うとともに、Google からの指示に基づき、Google に代わって情報を処理するために、前述の者に情報を提供します。

Google は、韓国の居住者にクラウド サービスを提供するために、以下に示す第三者のサービス プロバイダと契約を締結しています。これらの契約によって、Google が指定する目的以外でのサービスデータの処理を行わない、処理の終了後にサービスデータを返却または破棄する、およびこれらの義務を確実に遵守するためのプロセスを制定するという義務がこれらの企業に課されます。

第三者ベンダー

(登録国、連絡先情報)

役割

期間、処理 / アクセス方法、
処理 / アクセス項目

EPAM Systems Japan 合同
会社(日本、
privacy@epam.com)

Webhelp Malaysia Sdn.
Bhd(マレーシア、
privacy@my.webhelp.com
)

インフォシス リミテッド(日本、
privacy@infosys.com)

クラウド サービスに対するカ
スタマー サポート

Google が韓国の居住者に
クラウド サービスを提供でき
るように、これらの企業は、通
信ネットワーク経由で随時個
人情報にアクセスすること
で、上記の保持期間中に、上
記の収集した個人情報の項
目(関連情報を除く)を各自の
カスタマー サポートの役割に
応じて、国外からリモートで処
理できます。

自身の個人情報を海外に転
送することを希望しないエン
ドユーザーは、サービスの利
用を控え、個人情報を提供し
ないようにすることもできま
す。ただし、この場合、サービ
スが提供されなかったり、制
限されたりすることがありま
す。この件についてご質問が
ある場合は、以下の連絡先
情報までお問い合わせくださ
い。

Toss Payments Co., Ltd.(韓
国の企業)

支払いおよび通知サービス

Korea Mobile Certification
Inc

(韓国の企業)

身元確認サービス

D-Agent(韓国の企業)

ユーザーからのプライバシー
に関する問い合わせに対応
する現地の代理人

未成年。14 歳未満の韓国の居住者に関する個人情報を収集しないというのが、Google Cloud Platform に関する Google の基本ポリシーです。14 歳未満の韓国の居住者が特定のクラウド サービスを使用するには、保護者または法定代理人の同意が必要です。

個人情報の安全対策。Google は、サービスデータの安全性を確保するために、上記の「サービスデータの保護方法」の項で説明している管理的、技術的、および物理的な対策を講じています。

連絡先情報。Google Cloud のプライバシーに関するお知らせまたはプライバシー慣行(個人情報へのアクセス、訂正 / 削除、処理の停止、同意の取り消しなどの権利の行使方法を含む)についてご不明な点がありましたら、Google のプライバシー チーム(メール: googlekrsupport@google.com)までお問い合わせください。

Google が本プライバシーに関するお知らせに従って処理するサービスデータに関してエンドユーザーがデータ保護の権利を行使することを希望しているが、エンドユーザーまたはエンドユーザーの組織の管理者が利用可能なツールを介してそれを実現できない場合、エンドユーザーは[プライバシー ヘルプセンター](#)から Google にいつでも問い合わせることができます。また、韓国のプライバシー法に基づく自身の権利について懸念点がありましたら、お住まいの地域のデータ保護機関([個人情報侵害報告センター](#)など)にお問い合わせください。

個人情報保護法や、情報通信網利用促進および情報保護等に関する法律が定める現地代理人については、以下をご覧ください。

- 名称および代表者: D-Agent Co., Ltd.(CEO: Byung-gun An)
- 住所および連絡先情報: #1116, Platinum Building, Gwanghwamun 28, Saemunan-ro 5-ga-gil, Jongno-gu, Seoul, 02-737-0346, google_da_kr@dagent.co.kr

日本の要件

エンドユーザーのサービスデータの処理に日本のデータ保護法(個人情報の保護に関する法律、以下「APPI」)が適用される場合、Google は、日本在住のクラウド サービスのユーザーのために以下の追加情報を提供します。

サービスデータの管理者。Google に提供された、または Google により収集されたサービスデータは、主に 1600 Amphitheatre Parkway Mountain View, CA 94043 United States に所在する Google LLC(代表者: Sundar Pichai / CEO)により管理されます。

個人情報の収集目的と使用目的。Google は、[こちら](#)と[こちら](#)に定める目的でサービスデータを収集および使用します。

保有する個人情報を保護するために講じられる措置。

一般的な方針の制定

Google は、サービスデータに関する Google の一般的な方針を概説する本[プライバシーに関するお知らせ](#)を制定し、公開しています。

個人データの取り扱いに関する社内方針の制定

Google は、個人データの取得、利用、記録、提供、削除などに関する取り扱い措置、責任者、およびその責任などに関する社内方針を制定しています。

セキュリティ管理対策としての社内組織

Google には、個人データの取り扱いに関する社内プロセスの開発、実施、見直しを担当する大規模なセキュリティチームとプライバシー チームがあります。Google の従業員は、個人データに関わる疑わしいインシデントについて報告するよう教育を受けており、この報告は専用のメールアドレスやデジタル プラットフォームなど、さまざまなチャネルを通じて行うことができます。専任チームが報告を受けたインシデントを評価し、調査および対応の一環として、法務部門およびプロダクト チームとの連携を含め、インシデント全体を管理する調整チームが状況に応じて割り当てられます。また、インシデント対応のために待機するチームが日替わりで割り当てられます。インシデント対応は、インシデントに割り当てられた重大性と優先順位に応じて、標準ルートまたは優先ルートのいずれかに従います。

セキュリティ管理対策としての人的措置

Google は、従業員に対し、個人データを取り扱う際に考慮すべき事項に関する研修を定期的実施しています。

セキュリティ管理対策としての物理的措置

Google は、いかなる状況においても権限のない者による個人データへのアクセスを防止し、個人データを取り扱うデバイスおよび電子媒体の盗難や紛失を防止するための措置を講じています。

セキュリティ管理対策としての技術的措置

サービスデータの保護、保持、削除のためのセキュリティ対策の詳細については、[こちら](#)と[こちら](#)をご覧ください

外部環境の調査

データ保護法令は国によって異なり、保護が厳格な国もあればそうでない国もあります。Google は、本[プライバシーに関するお知らせ](#)に記載されているとおり、エンドユーザーの情報が APPI と同等の保護を受けられるよう、個人情報保護体制を確立しています。Google は、エンドユーザーの情報が処理される場所にかかわらず、世界共通の個人情報保護措置を適用しています。また、欧州の枠組みをはじめとしたデータ転送に関する特定の法的枠組みも遵守しています。詳細については、[データ転送の枠組み](#)をご覧ください。さらに、サービスデータを保管する Google のデータセンターの所在地については、[こちら](#)をご覧ください。Google は復処理者またはその子会社もしくは関係会社に情報の処理を委託する場合があります。Google のオフィス、ならびに子会社および関係会社の所在地については、[Google のオフィスの所在地](#)をご覧ください。復処理者の所在地については、[こちら](#)をご覧ください。

連絡先情報。適用法に基づくエンドユーザーのサービスデータに関する権利について質問や要望がある場合は、appi-inquiries-external@google.com までメールでお問い合わせください。

本プライバシーに関するお知らせの更新

本プライバシーに関するお知らせは、随時更新される可能性があります。重大な変更については、変更の内容に関する明確な説明をこのページに記載するか、エンドユーザーと直接コミュニケーションをとることで、必ず事前にエンドユーザーに通知します。本プライバシーに関するお知らせを定期的に確認することをおすすめします。Google は、最終更新日を常に明記します。

以前のバージョン(最終更新日: 2025 年 2 月 6 日)

2024 年 7 月 10 日 2024 年 1 月 18 日 2024 年 1 月 18 日 2023 年 8 月 21 日 2023 年 6 月 30 日 2023 年 1 月 25 日 2022 年 12 月 14 日 2022 年 11 月 15 日 2022 年 4 月 20 日 2021 年 12 月 7 日 2021 年 5 月 30 日 2020 年 12 月 7 日 2020 年 11 月 12 日